

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月9日
【四半期会計期間】	第190期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	秩父鉄道株式会社
【英訳名】	Chichibu Railway Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大谷 隆男
【本店の所在の場所】	埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地
【電話番号】	(048)523-3311
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 赤岩 一男
【最寄りの連絡場所】	埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地
【電話番号】	(048)523-3311
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 赤岩 一男
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第189期 第2四半期連結 累計期間	第190期 第2四半期連結 累計期間	第189期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
営業収益(千円)	2,859,052	2,774,803	5,594,303
経常利益(千円)	138,257	117,456	184,528
四半期(当期)純利益(千円)	137,352	107,853	182,911
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	139,846	83,931	1,018,356
純資産額(千円)	8,357,570	9,319,748	9,235,942
総資産額(千円)	22,840,324	22,913,486	23,238,192
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	9.23	7.25	12.30
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	36.5	40.6	39.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	252,757	39,966	492,150
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	192,604	100,689	518,339
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	10,312	76,234	17,385
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	758,505	764,281	699,860

回次	第189期 第2四半期連結 会計期間	第190期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.50	4.10

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
2. 営業収益には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組み、営業活動ではイベントの実施や沿線市町・同業他社などと連携した積極的な誘客活動を実施し収益の確保に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,774百万円となり前年同期に比べ2.9%減少いたしました。営業利益は前年同期比15.2%減の137百万円、経常利益は前年同期比15.0%減の117百万円、四半期純利益は前年同期比21.5%減の107百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### [鉄道事業]

旅客部門におきましては、わくわく鉄道フェスタや各関係団体などと協力したハイキング等を実施し収益の向上を図りました。東日本大震災からの回復傾向もあり定期、定期外収入とも前年同期に比べ増加いたしました。S-L関係の収入が運休の影響により減少いたしました。

貨物部門におきましては、安定したセメント需要が継続し順調に推移いたしました。

営業費用は、電気料金の値上げ等の影響もあり前年同期に比べ増加いたしました。

以上の結果、営業収益は前年同期比0.5%減の1,754百万円、営業損失は18百万円となりました。

#### [鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入]

			当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減率(%)
旅客人員	定期	千人	2,875	2,834	1.4
	定期外	"	1,399	1,376	1.7
	計	"	4,274	4,210	1.5
貨物トン数		千トン	1,073	1,078	0.4
旅客収入	定期	百万円	409	406	0.7
	定期外	"	588	575	2.3
	計	"	998	982	1.6
貨物収入		"	639	641	0.3

#### [不動産事業]

不動産事業におきましては、深谷市小前田の分譲地販売が振るわず、営業収益は前年同期比12.2%減の248百万円、営業利益は136百万円となりました。

#### [観光事業]

観光事業におきましては、天候不順の影響等により、営業収益は前年同期比13.4%減の157百万円、営業利益は11百万円となりました。

#### [バス事業]

バス事業におきましては、東日本大震災の影響を脱しつつあり、営業収益は前年同期比12.5%増の228百万円、営業利益は2百万円となりました。

#### [その他事業]

その他事業におきましては、営業収益は前年同期比5.0%減の597百万円、営業損失は2百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は764百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ5百万円増加いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は39百万円となりました。主な要因は保険差益の減少額65百万円、仕入債務の減少額260百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は100百万円となりました。主な要因は固定資産取得による支出239百万円、工事負担金受入による収入336百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は76百万円となりました。主な要因は長期借入れによる収入666百万円、長期借入金の返済による支出742百万円によるものです。

(3) 財政状態の状況

当第2四半期連結累計期間における財政状態について、総資産は、流動資産のその他に含まれる未収金の減少により、前連結会計年度末に比べ324百万円減少し、22,913百万円となりました。

負債は、支払手形および買掛金の減少等により、前連結会計年度に比べ408百万円減少し13,593百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、9,319百万円となり自己資本比率は40.6%となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	15,000,000	15,000,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	15,000,000	15,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	15,000	-	750,000	-	14,106

( 6 ) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
太平洋セメント株式会社	東京都港区台場2丁目3-5	4,978	33.19
有恒鉱業株式会社	埼玉県深谷市田中328	3,018	20.12
株式会社埼玉りそな銀行	埼玉県さいたま市浦和区常盤7丁目4-1	318	2.12
中村 僚	埼玉県さいたま市中央区	303	2.02
増岡 英男	埼玉県飯能市	214	1.43
齋藤 廣一	東京都港区	200	1.33
柿原 康治	東京都新宿区	170	1.13
諸井 三佐保	東京都文京区	157	1.05
二反田 静太郎	兵庫県西宮市	124	0.83
柿原林業株式会社	埼玉県秩父市野坂町1丁目13-9	108	0.72
計	-	9,590	63.94

(注) 上記のほか、自己株式が129千株あります。

( 7 ) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 129,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,631,000	14,631	-
単元未満株式	普通株式 240,000	-	1単元(1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	15,000,000	-	-
総株主の議決権	-	14,631	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の失念株式が2,000株(議決権の数2個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 秩父鉄道株式会社	埼玉県熊谷市曙町一丁目 1番地	129,000	-	129,000	0.86
計	-	129,000	-	129,000	0.86

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	703,047	767,468
受取手形及び売掛金	386,284	416,718
分譲土地建物	349,771	338,791
商品及び製品	27,458	28,584
原材料及び貯蔵品	57,882	94,006
その他	373,257	57,288
貸倒引当金	8,768	9,944
流動資産合計	1,888,934	1,692,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,226,995	13,227,582
減価償却累計額	8,698,374	8,795,365
建物及び構築物(純額)	4,528,620	4,432,216
機械装置及び運搬具	5,150,342	5,097,025
減価償却累計額	4,541,572	4,473,759
機械装置及び運搬具(純額)	608,770	623,265
土地	15,595,321	15,595,321
その他	625,355	630,833
減価償却累計額	568,180	574,501
その他(純額)	57,174	56,331
有形固定資産合計	20,789,887	20,707,136
無形固定資産	36,280	33,277
投資その他の資産		
投資有価証券	474,946	438,788
繰延税金資産	1,408	1,328
その他	63,014	54,195
貸倒引当金	16,277	14,152
投資その他の資産合計	523,091	480,159
固定資産合計	21,349,258	21,220,572
資産合計	23,238,192	22,913,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	415,042	154,056
短期借入金	1,160,683	1,161,498
1年内返済予定の長期借入金	1,286,717	1,305,887
未払法人税等	9,468	16,090
未払消費税等	37,979	51,970
繰延税金負債	205	208
賞与引当金	198,787	198,768
その他	830,403	828,738
流動負債合計	3,939,287	3,717,219
固定負債		
長期借入金	2,828,616	2,732,523
繰延税金負債	130,646	118,420
再評価に係る繰延税金負債	5,318,213	5,318,213
退職給付引当金	1,476,367	1,430,911
特別修繕引当金	-	10,400
長期預り金	309,118	266,050
固定負債合計	10,062,962	9,876,519
負債合計	14,002,250	13,593,738
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,998	21,991
利益剰余金	1,059,264	951,410
自己株式	27,905	28,024
株主資本合計	315,171	207,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,646	216,778
土地再評価差額金	9,299,294	9,299,294
その他の包括利益累計額合計	9,539,940	9,516,073
少数株主持分	11,173	11,118
純資産合計	9,235,942	9,319,748
負債純資産合計	23,238,192	22,913,486

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	2,859,052	2,774,803
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,023,148	1,975,938
販売費及び一般管理費	674,302	661,785
営業費合計	2,697,451	2,637,723
営業利益	161,601	137,079
営業外収益		
受取利息	86	88
受取配当金	5,904	4,729
物品売却益	354	-
土地物件貸付料	2,503	3,505
助成金収入	5,865	2,548
その他	10,434	14,344
営業外収益合計	25,149	25,215
営業外費用		
支払利息	45,970	41,947
その他	2,522	2,891
営業外費用合計	48,492	44,838
経常利益	138,257	117,456
特別利益		
固定資産売却益	708	376
工事負担金等受入額	20,933	-
補助金受入額	-	1,100
投資有価証券売却益	-	11
保険差益	-	65,621
特別利益合計	21,641	67,109
特別損失		
固定資産圧縮損	20,933	66,616
固定資産除却及び撤去費	21	36
投資有価証券売却損	-	2
特別損失合計	20,954	66,655
税金等調整前四半期純利益	138,944	117,910
法人税、住民税及び事業税	1,571	10,021
法人税等調整額	67	83
法人税等合計	1,639	10,104
少数株主損益調整前四半期純利益	137,305	107,805
少数株主損失( )	47	47
四半期純利益	137,352	107,853

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	137,305	107,805
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,541	23,874
その他の包括利益合計	2,541	23,874
四半期包括利益	139,846	83,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,892	83,986
少数株主に係る四半期包括利益	45	54

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	138,944	117,910
減価償却費	208,675	182,868
退職給付引当金の増減額(は減少)	80,154	45,456
賞与引当金の増減額(は減少)	4,728	18
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,152	949
特別修繕引当金の増減額(は減少)	11,100	10,400
受取利息及び受取配当金	5,991	4,818
支払利息	45,970	41,947
投資有価証券売却損益(は益)	-	8
固定資産除売却損益(は益)	424	2,115
固定資産圧縮損	20,933	66,616
工事負担金等受入額	20,933	1,100
保険差益	-	65,621
売上債権の増減額(は増加)	26,781	28,308
たな卸資産の増減額(は増加)	29,125	26,269
その他の流動資産の増減額(は増加)	4,034	16,218
仕入債務の増減額(は減少)	46,982	260,985
未払費用の増減額(は減少)	34,501	14,450
その他の流動負債の増減額(は減少)	26,237	33,624
長期預り金の増減額(は減少)	43,031	43,067
その他	261	1,571
小計	304,367	21,317
利息及び配当金の受取額	5,991	4,818
利息の支払額	48,064	42,741
保険金の受取額	-	103,411
法人税等の支払額	9,537	4,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	252,757	39,966
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	341,575	239,435
固定資産の売却による収入	750	400
工事負担金等受入による収入	148,253	336,797
貸付けによる支出	-	3,000
その他	33	5,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	192,604	100,689
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,000	815
長期借入れによる収入	600,000	666,000
長期借入金の返済による支出	609,152	742,923
自己株式の増減額(は増加)	2,159	126
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,312	76,234
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	49,839	64,420
現金及び現金同等物の期首残高	708,665	699,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	758,505	764,281

【会計方針の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。	
なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。	

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費の主なものは次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与・手当	249,611千円	243,448千円
賞与引当金繰入額	45,728	47,266
退職給付費用	11,971	12,660
減価償却費	47,659	45,456

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	761,691千円	767,468千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	3,186	3,187
預金及び現金同等物	758,505	764,281

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,758,260	279,396	180,964	202,546	2,421,168	437,884	2,859,052	-	2,859,052
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	4,644	3,312	447	33	8,436	190,569	199,006	199,006	-
計	1,762,905	282,708	181,411	202,579	2,429,605	628,454	3,058,059	199,006	2,859,052
セグメント 利益又は損 失( )	4,931	151,305	29,732	20,533	165,436	10,117	155,319	6,281	161,601

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タク  
 シー事業、卸売・小売業、建設・電気工業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額6,281千円には、固定資産未実現損益の消去額499千円、  
 セグメント間取引消去5,781千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っておりま  
 す。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,750,121	244,895	156,590	227,619	2,379,227	395,575	2,774,803	-	2,774,803
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	4,422	3,312	447	393	8,576	201,701	210,277	210,277	-
計	1,754,543	248,207	157,038	228,013	2,387,803	597,277	2,985,080	210,277	2,774,803
セグメント 利益又は損 失( )	18,596	136,400	11,403	2,644	131,851	2,251	129,599	7,480	137,079

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額7,480千円には、固定資産未実現損益の消去額447千円、セグメント間取引消去7,033千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成24年9月30日）

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成24年9月30日）

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

該当事項はありません。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9円23銭	7円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	137,352	107,853
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	137,352	107,853
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,881	14,871

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

秩父鉄道株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 裕司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 飯塚 正貴 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている秩父鉄道株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、秩父鉄道株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。